

清水寺奨学金

趣旨

京都は、日本文化の中心であると共に国内はもとより世界中から大勢の若者が集まる大学の町でもあります。自由で闊達な市民と世界的な知名度からも 21 世紀の日本と世界の友好を築くための役割を期待されている都市でもあります。

清水寺はそうした京都の町に集い勉学に励む若者たちに、日本と世界の交流の中で中心的な役割を果たして欲しいと願っております。

そこで平成 12 年(2000 年)に行われた 33 年に 1 度の御開帳を期して、京都に集い勉学に励む若者にささやかなゆとりを提供する事を目的とし、本奨学金を創設、運営しております。奨学生には学問に勤しみ、高い教養を養うと共に、市民との交流などを通して京都を知り、生活を楽しみ、豊かな思い出を築き、広い視野を持ち、近い将来には世界市民として国際的な連帯と友好の絆を築くための大きな力となることを期待します。

目的

大学において勉強・研究を行う為に必要な費用を援助する。

応募資格

京都府にある大学に在籍する学生、留学生、大学院生、研究生を対象とする。

奨学金

月額 10 万円を上限とし、1 年間(4 月から翌年 3 月まで)支給する。

奨学金支給を決定する時期は毎年 7 月末以降になるが、奨学金の支給は 4 月分にさかのぼって行う。

返済の義務はない。

支給人員

数名 (人員数は年度毎の奨学金総額によって変動する)

公募期間

令和 7 年 7 月 3 日から 7 月 18 日 (当日の消印まで有効)

応募方法

申請書に必要事項を記載の上、添付書類と共に事務局宛に提出する。

選考方法

選考は選考委員会で行い、書類審査の後、必要に応じて面接を行う。

選考結果は本人宛書面で通知する。

1.申請書記載事項

- a) 学歴・職歴
- b) 研究・勉学の目的と将来の抱負
- c) 奨学金を必要とする理由
他の奨学制度による奨学金の取得の現状も記載すること。
- d) 推薦者

2.添付書類

- a) 推薦書
推薦書は親展文とする。
推薦者は、応募者を良く知っている大学の教官等とする。
推薦者は身分、申請者との関係、および連絡先を明記すること。
- b) 在学証明書（コピー不可、応募期間の3か月以内発行に限る）
※添付書類に不足がある場合は審査しません。
添付書類は返却しません。

3.面接

面接を行う場合、日時等は本人宛に通知する。

報告書

奨学生は年度末に報告書(形式自由)を提出すること。

その他交流活動

奨学生には、清水寺の主催する各種行事に参加する事を希望する。

問い合わせ先

住所 〒605-0862 京都市東山区清水1丁目

清水寺寺務所内

奨学金事務局

TEL 075-551-1234

FAX 075-551-1287

申請書類提出先

住所 〒605-0862 京都市東山区清水1丁目

清水寺寺務所内

奨学金事務局

表に 「清水寺奨学金応募書類」と明記のこと

清水寺奨学金申請書

令和____年____月____日提出

申請者名 (楷書)_____署名又は印鑑 _____

生年月日 (_____)

現住所

〒 _____

電話番号 (_____)

所属 _____大学 _____学部 _____学科 _____回生

_____大学院 _____研究科 _____専攻 _____回生

所属先住所 〒 _____

所属先電話番号(_____)

教務課等、申請者及び推薦者に連絡の取れる窓口の番号

当山の奨学金を受給されたことがありますか？

- はい (_____ 年度)
 いいえ

申請者の学歴・職歴 (日本語又は英語で記載のこと)

研究・勉学の目的と将来の抱負(日本語又は英語で具体的に記載のこと)

奨学金を必要とする理由（日本語又は英語で記載のこと）
他の奨学制度による奨学金の取得の現状も記載すること。

推薦者

清水寺奨学生として（申請者氏名） _____ を推薦いたします。

推薦者身分・氏名 _____ 印

申請者との関係 _____

連絡先住所 〒 _____

連絡先電話番号（ _____ ）

推薦文は親展文として、封書にて添付して下さい。